北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光振興論 I	科目コード	1471	単位数	3
担当者名	山田　勅之	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	C.D	実務経験	有　旅行代理店
ナンバリング	ITp402	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

経済振興の一方策として観光がますます重要視されています。とりわけ国際観光は新たな成長分野として、様々な施策が行なわれています。本講義ではインバウンドとアウトバウンドを対象として、具体的な事例を取り上げながら、現状と課題、問題点を検討していきます。さらに旅行業従事20年の経験を基に、実務の視角も取り入れた学びを展開します。以上から、国際観光の分野において、グローバルな活動を担いうる人材を目指します。

到達目標

インバウンドとアウトバウンドそれぞれに対する振興策が、どこへ、どのように影響を及ぼしているのかを理解するとともに、そこから生じる問題を把握します。以上から、国際社会と地域社会に貢献できる能力を身につけることができます。

授業内容

1週目 ガイダンス：国際観光の概略
2週目 日本の国際観光の変遷とインバウンドの現状
3週目 観光インフラ
4週目 規制緩和：民泊がもたらすもの
5週目 中国訪日旅行①　「爆買い」
6週目 中国訪日旅行②　「爆買い」後
7週目 ハラールツーリズム：イスラーム教徒訪日観光
8週目 オーバーツーリズム
9週目 ユニバーサルツーリズム
10週目 アウトバウンド：海外旅行とメディア
11週目 航空市場の変遷
12週目 旅行業とアウトバウンドー実務実践
13週目 リゾート開発：ハワイ
14週目 海外ロングステイ：ワーホリ
15週目 まとめ　小論文作成
16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

参考書や関連の文献に基づいて予習を行う（1時間程度）。
毎授業配布するレジュメの復習をする（1時間程度）。

成績評価の方法・基準

授業時に実施する小レポート　50%
小論文　50%

履修上の留意点

・毎講義、質問やアンケートへの回答、及び小レポートの提出を課します。これらのうち、小レポートを除いてmanaba上で行いますので、スマホやタブレット、ノートパソコンなどのモバイル端末を持参ください。小レポートはレポート用紙を配布するので、回答のうえ提出します。
・遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。改善されない場合は不合格となることがあります。欠席・遅刻は授業参加度の観点から管理しますので、注意ください。
・毎回配布するレジュメはまとめの小論文作成に必要となるので、保管しておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

・小レポートは基準に基づいて3～5段階に評価して返却します。
・小レポートの提出がなされない場合、欠席扱いとするので注意してください。

テキスト

特になし。毎授業レジュメを配布する。

参考書

高井典子・赤堀浩一郎『訪日観光の教科書』（創成社）2310円
山口誠『ニッポンの海外旅行―若者と観光メディアの50年史』（ちくま新書）858円

更新日付

2026/01/26 01:52